

資料 男性保育者年表

	男保連の動き	社会的背景
60年代	<ul style="list-style-type: none"> ・保育運動の広がり 	
73年 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・男保連準備会発足（湯田中）17名 （於第5回全国保育合同研究集会） 資格取得と交流を目的と確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会で男性保育者がとりあげられる （衆院 寺前議員）
74年 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・京都で府交渉 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都議会で質疑
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京で都交渉 ・男保連結成総会（湯田中）30名 （於第6回全国保育合同研究集会） 資格要求の考え方 ① 憲法で保障されている職業選択の自由が奪われている ② それによって受ける経済的差別 ③ 保育を託児から教育としてとらえ直し、責任をもって保育内容を高める 資格基本要素として、保母と同一資格・職務・賃金を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・全社協保母会『保育士法第一次案』発表 （内容～「男女共保育士として免許法確立」） ・日本学術会議「社会福祉の研究教育体制などについての政府へ勧告」 ・全国私立保育園連盟、政府要求に男性保育者の資格認定掲げる
75年 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・『男性の身分に関する陳情書』提出 初の厚生省交渉 実情を訴える 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際婦人年 男女平等・婦人の権利擁護の運動、家庭における男女の役割分担などの論議も活発化
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・『男性保育者—その実践と資料 No.1』 4千部発行。社会問題として広くアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミの報道が増え、社会問題としても認識されていく
	<ul style="list-style-type: none"> ・男保連第1回総会 （於第7回全国保育合同研究集会） 実践集の活用と各自治体での活動強化を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政管理庁、厚生省へ保育所整備などについて勧告
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全国交流集会（名古屋）34名 スポーツと保育実践の交流会 会則よびかけを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・中児審、勧告にもとづき審議 ・国会で再度、男性保育者について取り上げられる
76年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・『男保連ニュース』創刊 	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・男保連会員 157名 ・複数園（1園2名以上の男性）の増加 ・福祉系大学の新卒就職目立つ ・保母養成校（民間）の入学者増える ・公立での採用が徐々に出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間社会福祉労働組合全国連絡会、資格認定を政府要求項目化 ・マスコミの報道、活発化
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック代表者会議 ・第2回厚生省交渉 「現在中児審で検討中」と回答あり 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・男保連第2回総会 （於第8回全国保育合同研究集会） 一年間のまとめと今後の活動について 全国保育合同研究集会でパネル展示、特別報告 	

9月	<ul style="list-style-type: none"> 第3回厚生省交渉 早期の制度化を表明 同一資格・職務内容とすることを確認 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回全国交流集会（京都）80名 	<ul style="list-style-type: none"> 厚生省、保育三団体、保養協に意見聴取 各団体とも男性に道を開くべきと回答
11月	<ul style="list-style-type: none"> 『男子の職名に関する要望書』を提出 他団体へも働きかけをする 	<ul style="list-style-type: none"> 東京保谷市、男性を公募 中児審中間報告 保育に男性職員を加えることについて、早急に 改善措置が講じられるべきであろうと指摘
77年 1月	<ul style="list-style-type: none"> 男性保育者説明会（東京私保連主催） 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都、都立保母学院に男子の入学を認める（32名合格）
3月	<ul style="list-style-type: none"> 男性にも名称が認められるが、名称はなし 	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法施行令改正 省令改正
4月	<ul style="list-style-type: none"> 男性保育者が急増し、実態つかめず （500名を越している予想） 	<ul style="list-style-type: none"> 厚生事務次官通達、児童家庭局長通達 （養成校卒業生20名、在学100名と公表）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ブロック代表者会議 今後の組織問題を検討 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 男保連第3回総会 （於第9回全国保育合同研究集会） これまでの運動を総括し、今後職名問題などに対応した運動ができるよう組織の存続を確認 	
78年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 毎年の合研で男性保育者の自主交流会を重ね、全国状況の情報交換と交流を深めていく 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本型福祉社会」提唱される 「乳幼児の保育に関する基本法案（仮称）」 革新自治体の後退とともに保育行政後退 ベビーホテル問題
82年 11月	<ul style="list-style-type: none"> 全国代表者会議（11都道府県20名） 男性の資格取得者1500人になる 	<ul style="list-style-type: none"> 第二臨調発足・答申 保育予算・施設整備予算大幅削減
83年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 『男性保育者その実践と資料 No.2』発行 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園団体の統合と「幼保一元化」問題
84年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 男性保育者3000人を越すと予想 	<ul style="list-style-type: none"> 「地方行革」自治体への圧力強まる 保育所措置費国庫負担金一括削減
11月	<ul style="list-style-type: none"> 第3回全国交流集会（岐阜）110名 8年ぶりの集会。2年に一度の全国交流集会の開催と、毎年の合研での交流会が、活動サイクルとしてその後定着してくる 	<ul style="list-style-type: none"> 男女雇用機会均等法
86年 11月	<ul style="list-style-type: none"> 第4回全国交流集会（東京）120名 アピールを採択 	<ul style="list-style-type: none"> 国庫負担率五割の恒久化 機関委任事務の整理合理化
12月	<ul style="list-style-type: none"> 厚生省へ陳情（職名、就学、就職、賃金問題について） 	
88年 11月	<ul style="list-style-type: none"> 第5回全国交流集会（大阪）140名 	
89年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 『男性保育者—その実践と資料 No.3』発行 	
90年 11月	<ul style="list-style-type: none"> 第6回全国交流集会（愛知）144名 	
91年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 厚生省との懇談 	
92年 11月	<ul style="list-style-type: none"> 第7回全国研究交流集会（神奈川）124名 これ以降、交流とともに、研究が全国集会のテーマに加わる 	<ul style="list-style-type: none"> 「これからの保育所懇談会」『保育士』への名称変更を提言にもりこむ
96年 1月		<ul style="list-style-type: none"> 阪神淡路大震災

2月	<ul style="list-style-type: none"> 第8回全国研究交流集会（北海道）120名 次回予定地だった神戸への励ましの意味を込め、男保連発祥の地、湯田中での開催・成功を確認、神戸の仲間に義援金を送る 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 厚生省との懇談 『保父』でないと斡旋不調になりかねない」との厳しい状況に対し、当事者団体としての要求の正当性を改めて主張 	<ul style="list-style-type: none"> 総務長・行政苦情救済推進委員会で、男性保育者の職名化を厚生省に斡旋する方向で検討中 厚生省、児童福祉法改定に向け中児審に諮問
11月	<ul style="list-style-type: none"> 第9回全国研究交流集会（長野） 男性の資格取得20年目の節目の集会として、248名の参加で成功 職名問題検討会を開催し、問題解決に向けた意志統一としてアピールを採択 	
97年 1月	<ul style="list-style-type: none"> 厚生省・総務庁それぞれと懇談 「統一名称」を要求していくことが集会で確認された事を改めて伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法改定
7月	<ul style="list-style-type: none"> 『保父』と呼ばないで」発行（かがわブックレット） 5千冊を普及し、男保連の主張を社会的にアピール 	<ul style="list-style-type: none"> 総務庁が厚生省に斡旋。それをマスコミがいっせいに報道
10月	<ul style="list-style-type: none"> 職名について「緊急声明」を出し、記者会見を開くとともに、厚生省と懇談 全国保母会、全国社会福祉協議会と懇談 「保育士」実現の方向をお互いに確認 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 全国の意見集約をし「保育士」創設の要望書発表、提出 	<ul style="list-style-type: none"> 全国保母会、共通名『保育士』を要求することを決議
98年 2月	<ul style="list-style-type: none"> 『保育士』実現が決定 マスコミがいっせいに報道 	<ul style="list-style-type: none"> 「児童福祉法施行令」等が改正、交付される
11月	<ul style="list-style-type: none"> 第10回全国研究交流集会（神戸）170名 現地の奮闘と全国の励ましで、念願の神戸で開催、「保育士」実現の歴史的意義について全体で確認 	
99年 4月	<ul style="list-style-type: none"> 男女共通名称『保育士』が男性保育者の正式名称となる 	<ul style="list-style-type: none"> 改正「児童福祉法施行令」等が施行される
00年 7月	<ul style="list-style-type: none"> 『男性保育者その実践と資料 No.4』発行 「保育士」実現の経過と意義をアピール 	
01年 11月	<ul style="list-style-type: none"> 第11回全国研究交流集会（香川）127名 「保育士」実現等を背景に、男性が保育士総数の1%を、歴史上初めて超えたことが確認される 男性保育者として初めて定年を迎えた福本氏の講演を受け「定年まで働き続けられるか」が話題に 児童福祉法の一部改正に関して声明を発表 	<ul style="list-style-type: none"> 「待機児ゼロ作戦」が打ち出される 「児童福祉法」が一部改正され、保育士の資格が法定化 任用資格から名称独占資格へと改められる

03年11月	<ul style="list-style-type: none"> 第12回全国研究交流集会（埼玉）148名 「原点回帰」をテーマに、今後の方向性など議論 	<ul style="list-style-type: none"> 総合規制改革会議「幼・保一元化」を提案 「総合施設」の設置が閣議決定
04年		<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所運営費が一般財源化
05年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 第13回全国研究交流集会（滋賀）124名 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園と保育所の「合同活動」「保育室の共用化」が閣議決定 次世代育成支援対策推進法 認定子ども園法施行
06年		
07年11月	<ul style="list-style-type: none"> 第14回全国研究交流集会（群馬）135名 	
08年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 第40回全国合研（東京）で「男性保育者の現状と課題、実践交流」の特別分科会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 「新待機児ゼロ作戦」 社会保障審議会少子化特別部会 「新しい保育メカニズム」を提起 保育所保育指針改定 保育内容の最低基準に 総選挙。自公から民主へ政権が交代
09年 8月	<ul style="list-style-type: none"> 第41回全国合研（大阪）でも特別分科会 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 第15回全国研究交流集会（東海）161名 	
11年 3月		<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災、東京電力福島第1原発事故
8月	<ul style="list-style-type: none"> 第43回全国合研にて3回目の特別分科会開催 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 『男性保育者その実践と資料 No.5』発行 第16回全国研究交流集会（富山） 	

